



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2018年3月3日(土) 10時00分～15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員／7名(うち午前のみ2名、午後のみ2名)、 魚住まち協／3名(うち午前のみ1名、午後のみ1名)、 一般参加者／6名(うち小・中・高校生4名) 事務局／1名(午前のみ)、計／17名

● 午前

今日の金ヶ崎公園は、朝から晴れ間の広がり、午前中は好天に恵まれました。朝10時に公園事務所に、一般参加の小・中・高校生4名を含め、14名のメンバーに集まっていただきました。

いつものとおり、まず公園の会議室でミーティングをした後、全員で公園内のコースに出て、昆虫を中心とした自然観察をしました。日差しはあったものの、午前中の気温は10℃に届かない寒さのため、昆虫はカメムシやコウチュウ、チョウのなかまなどが少数観察できただけでした。

昼休みには、先月の活動に引き続き、温かい「おでん」の差し入れがあり、参加メンバーは和気あいあいと談笑しながら、昼食を楽しみました。

● 午後

午後は、数名の参加者の入れ替わりがありましたが、12名のメンバーが里山整備作業に取り組みました。まず、公園西側の雑木林を通る散策路の階段の補修作業をしました。階段の横木が老朽化して、歩きにくくなっているため、新しいものと取り換えて杭を打ち、しっかりした階段を復元しました。

その後は、雑木林の常緑樹や枯木の除伐と、その片づけをしました。伐り倒した樹木の幹は、散策路のガイドに利用しました。4名の小・中・高校生も、階段補修のくい打ちや樹木の除伐作業などに、一生懸命に取り組んでもらいました。

最後に、公園入口近くの竹林をバックに集合写真を撮ったあと、定刻の午後3時にケガなどもなく今日の活動を終了しました。

- 次回の活動は**4月7日(土)9時から**の予定です。公園内の桜は散ってしまった後かもしれませんが、色々な春の花も楽しめる季節になっていると思います。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

朝のミーティング



自然観察(その1)



自然観察(その2)



自然観察(その3)



里山整備作業(その1)



里山整備作業(その2)



里山整備作業(その3)



里山整備作業(その4)



里山整備作業(その5)



自然観察会途中での集合写真



整備作業終了後の集合写真



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の自然観察は、日差しはあっても気温が10℃に届かず、観察できた昆虫はアオクサカメムシ、ベニモンツノカメムシ、ヨモギハムシ、ナミテントウ、ナナホシテントウ、テングチョウの6種だけでした。

アオクサカメムシ



ベニモンツノカメムシ



ヨモギハムシ



集団で越冬中のナミテントウ



ナナホシテントウ



テングチョウ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

野鳥では、先月に続いて冬鳥のジョウビタキやルリビタキ、シロハラ、ツグミなどがまだ残っていたほか、ふもとの北浦池では冬鳥のミコアイサのほか、カルガモやカイツブリ、アオサギが観察できました。また、カワセミが枝からダイビングする寸前の姿を撮影することができました。

そのほかに、常連のコゲラやメジロ、カワラヒワ、スズメ、モズ、エナガなどが姿を見せました。野鳥たちは繁殖期が近いようで、モズやエナガはそれぞれ巣材の羽毛やクモの巣を集める様子が観察できました。

ジョウビタキ(オス)



ジョウビタキ(メス)



ルリビタキ(メス)



シロハラ



ツグミ



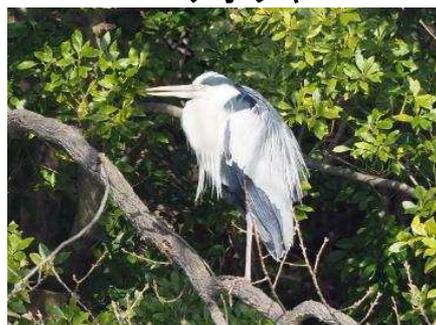
カルガモ



カイツブリ



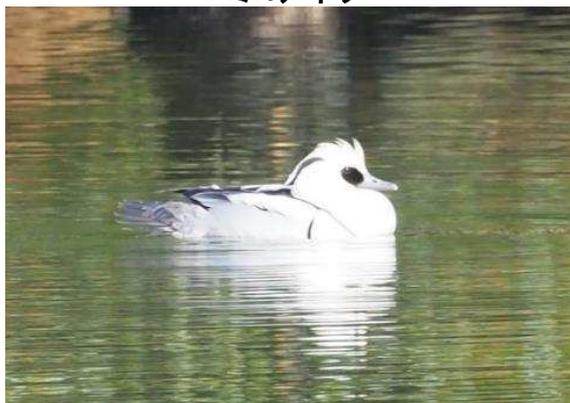
アオサギ



コゲラ



ミコアイサ



ダイビング寸前のカワセミ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

メジロ



カワラヒワ



スズメ



巣材の羽毛を集めるモズ(メス)



クモの巣を集めるエナガ



植物では、まだ落葉樹の芽吹きは少し先のようにですが、陽だまりにはオオイヌノフグリやヒメオドリコソウなどの春の草花が咲きだしていました。

また、ツツジの植え込みの根元に、キノコのなかまのツチグリを見つけました。

オオイヌノフグリの花



ヒメオドリコソウの花



ツチグリ

